

導入・キリスト教の由来

「信仰は、ご自分を啓示し、与えてくださる神への人間の応答です。」

(カトリック教会のカテキズム26)

◆ 啓示（神を知る道）

- ・ 大自然（被造物・被造界）
- ・ イスラエルの歴史の中での神の働き
- ・ イエス・キリストの言葉と行い

📖 「わたしたちが先祖の神、主に助けを求めると、主はわたしたちの声を聞き、わたしたちの受けた苦しみと労苦と虐げを御覧になり、力ある御手と御腕を伸ばし、大いなる恐るべきこととしるしと奇跡をもってわたしたちをエジプトから導き出し、この所に導き入れて乳と蜜の流れるこの土地を与えられました。」 申 26:7-9

📖 「神は、かつて預言者たちによって、多くのかたちで、また多くのしかたで先祖に語られたが、この終わりの時代には、御子によってわたしたちに語られました。」 ヘブ 1,1-2

「主キリストは、弟子たちを選んでご自分の同伴者とされた。弟子たちはその始めから主に従い、主の活動を目撃し、言葉を聞いた。このように彼らは主の生涯と教えの証人となるために適格者となった。」（福音書の歴史的真理性に関する指針・教皇庁聖書委員会）

紀元前	44 年	オクタヴィアン・アウグトゥスがローマ皇帝となる（紀元後 14 年まで）
	36/37 年	ヘロデ大王がユダヤの王となる
	20/19 年	エルサレム第三神殿の建築に着手（ヘロデ大王）
	2 年 2 月 5 日	オクタヴィアン・アウグトゥスが元老院より国家の父 (pater patriae) の称号が贈られた。
	3 年 12 月-2 年 1 月	イエスの誕生
	2 年 12 月	天文学者の訪問
	2 年 12 月	聖家族のエジプトへの亡命
	(4 年?)1 年 1 月 10 日 と 4 月 8 日との間	ヘロデ大王が死去
紀元後	14 年	ティベリウスがローマ皇帝となる（37 年まで）
	27 年	ティベリウスがカプリ島へ リウス・セイヤヌスが政治の実権を握る、ユダヤ人の迫害開始 ポンティウス・ピラトがユダヤ総督（36 年まで） サンヘドリン(ユダヤ人の最高議会)解散
	29 年秋	イエスの洗礼と宣教活動の開始（ティベリウス治世の 15 年目に；ルカ 3,1）
	30 年春	（イエスが宣教活動を開始してから）第 1 の過ぎ越しの祭り
	31 年	第 2 の過ぎ越しの祭り セイヤヌスが死刑される、ユダヤ人の迫害終わり サンヘドリン再開始
	32 年	第 3 の過ぎ越しの祭り（ヨハ 6,4）
	33 年 4 月 3 日 午後 3 時	最後の過ぎ越しの祭り（Nisan14・金曜日） イエスがサンヘドリンの裁判と ローマ総督ピラトのもとで裁判を受け十字架につけられる イエスの死（34 歳）
	33 年 4 月 5 日	イエスの復活

- 📖 「あなたがたに耳を傾ける者は、わたしに耳を傾け、あなたがたを拒む者は、わたしを拒むのである。わたしを拒む者は、わたしを遣わされた方（父である神）を拒むのである。」（ルカ 10:16）
- 📖 「あなたがたを受け入れる人は、わたしを受け入れ、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方（父である神）を受け入れるのである。」（マタ 10:40）

◆ キリスト教の信仰の表現方法

典礼（ミサ）、伝承、習慣（聖伝）、書簡、福音書（聖書）、信条、教理、カテキズムなど

📖 「ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わった。彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。」使 2:41-42

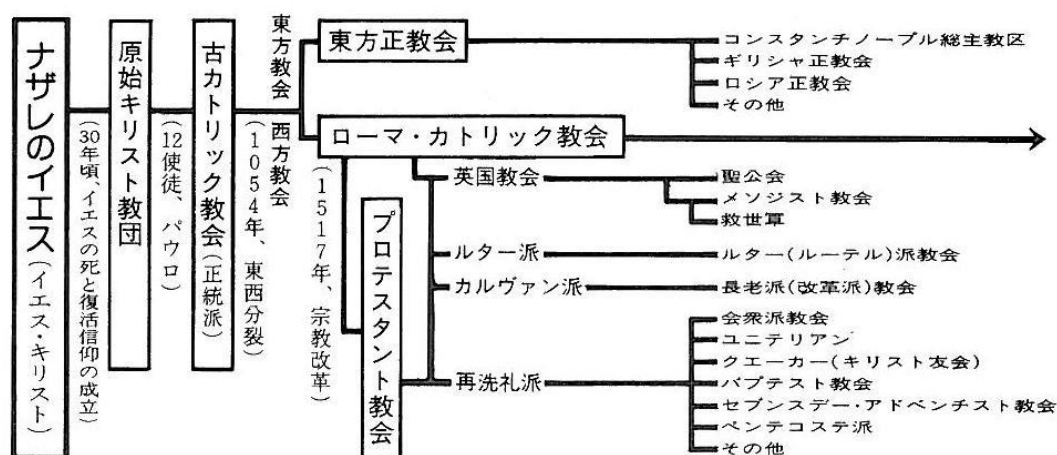
📖 「アンティオキアでは、そこの教会にバルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、キレネ人のルキオ、領主ヘロデと一緒に育ったマナエン、サウロなど、預言する者や教師たちがいた。彼らが主を礼拝し（λειτουργούντων・λειτουργέω,v \{li-toorg-eh'-o\} 典礼）、断食していると、聖霊が告げた。「さあ、バルナバとサウロをわたしのために選び出しなさい。わたしが前もって二人に決めておいた仕事に当たらせるために。」使 13:1-2

「要するに、エウカリスチアはわたしたちの信仰の要約であり、頂点なのです。「わたしたちの考え方はエウカリスチアに共鳴し、エウカリスチアはわたしたちの考え方を強固なものにします」（聖イレネオ『異端反駁』）。（カトリック教会のカテキズム 1327）

「聖なる典礼は、主として神の威光に奉げる礼拝であるが、信徒の教育のためにも大きな価値を含んでいる。」（典礼憲章 33）

◆ 教会の歴史

33年以降	初代キリスト教（迫害と発展）
312年	ローマ皇帝コンスタンチンの改宗
313年	キリスト教の公認
330年	ローマ帝国の首都のコンスタンチノーブル（今のイスタンブール）への移動
1054年	東方教会と西方教会（ローマカトリック教会）へと分裂
1517年	<p>宗教改革（プロテスタント教会の誕生）</p> <p>○ 共通点：①イエスは救い主、②イエスは人間であり、神である、③三位一体</p> <p>○ 違い：（カ）聖書と聖伝 / （プ）Sola scriptura 聖書のみ （カ）信仰と行い / （プ）Sola fide 信仰のみ （カ）神の恩恵と人間の協力 / （プ）Sola gratia 恩恵のみ （カ）七つの秘跡（洗礼、聖体、ゆるし、堅信、叙階、婚姻、病者塗油）、教皇、マリア、聖人 / （プ）洗礼</p>





<https://lumen-christi.com/shinjo/>

◆ 使徒信条

天地の創造主、全能の父である神を信じます。
父のひとり子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。
主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、
ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、
十字架につけられて死に、葬られ、
陰府（よみ）に下り、三日目に死者のうちから復活し、
天に昇って、全能の父である神の右の座に着き、
生者（せいしゃ）と死者を裁くために来られます。
聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン。

◆ 叙唱

聖なる父、全能永遠の神、あなたの偉大なわざをたたえ、いつも感謝をささげます。
あなたは唯一のまことの神、初めもなく終わりもなく、すべてを越えて光り輝くかた。
あふれる愛、いのちの泉、万物の造り主。造られたものは祝福され、光を受けて喜びに満たされます。
数知れない天使は昼も夜もあなたに仕え、栄光を仰ぎ見て絶え間なくほめたたえます。
わたしたちはこれに声を合わせ、すべての造られたものとともに、あなたをたたえて歌います。

◆ 第四奉献文

聖なる父よ、わたしたちはあなたをたたえます。
あなたは偉大なかた、英知と愛によってすべての業（わざ）を行われました。
ご自分にかたどって人を造り、造り主であるあなたに仕え、
造られたものをすべて支配するよう、全世界を人の手におゆだねになりました。
人があなたにそむいて親しい交わりを失ってから、死の国に見捨てることなく、
すべての人があなたを求めて見いだすことができるように、
いつくしみの手をさしのべられました。
また、たびたび人と契約を結び、預言者を通して、
救いを待ち望むように励ましてくださいました。
時が満ちて、あなたはひとり子をわたしたちに救い主としてお遣わしになりました。
聖なる父よ、あなたはこれほど世を愛してくださいました。
御ひとり子は聖霊によって人となり、おとめマリアから生まれ、
罪のほかは、すべてにおいてわたしたちと同じように生活し、
悲しむ人には喜び、とらわれ人には自由、貧しい人には救いの福音を告げ、
あなたの計画を実現するため
死に身をゆだね、死者のうちから復活して
死を滅ぼし、いのちを新しくしてくださいました。
わたしたちが自分に生きるのではなく、
わたしたちのために死んで復活されたキリストに生きるために、
父よ、子は信じる者に最初のたまものとして
あなたのもとから聖霊を遣わし、聖霊は世にあってその業（わざ）を全うし、
すべてをとうといものになさいます。

◆ 祈り

十字架のしるし： 父と子と聖霊のみ名によって。アーメン



父と



子と



聖霊の



み名によって。



アーメン

主の祈り

天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに
地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を
今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしてください。
わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、
悪からお救いください。

アヴェ・マリアの祈り

アヴェ、マリア、恵みに満ちた方、
主はあなたとともにおられます。
あなたは女のうちに祝福され、
ご胎内の御子イエスも祝福されています。
神の母聖マリア、
わたしたち罪びとのために、
今も、死を迎える時も、お祈りください。
アーメン。

栄唱

栄光は父と子と聖霊に。
初めのように今もいつも世々に。アーメン。

◆ 組織

「体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分の数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様である。つまり、一つの霊によって、わたしたちは、ユダヤ人であろうとギリシア人であろうと、奴隷であろうと自由な身分の者であろうと、皆一つの体となるために洗礼を受け、皆一つの霊をのませてもらったのです。体は、一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。」 1 コリ 12:12-14

イエス・キリストは、弟子の中から 12 人を選び「使徒」としました。そしてペトロに使徒の頭としての特別な使命を委ねました。使徒たちは各地で宣教し、キリストを信じる者たちの共同体、すなわち教会をつくり、自分たちの後継者を定めました。ペトロはローマに行き、教会をつくりました。このペトロの後継者がローマ司教、すなわちローマ教皇です。そして使徒たちの後継者が世界中で働いている司教なのです。

ローマ教皇は全カトリック教会に対して最高の統治権を有する、というのがカトリック教会の伝統的な教えです。現在全世界には司教が責任を有する約 2500 の教会（教区）があります。司教は自分の任務を助ける司祭（神父）を指名することができます。日本には 16 の教区があり、17 人の現役の司教が働いています。

カトリック教会（教皇）→ 教区（教区長・司教）→ 小教区（主任司祭・助任司祭・助祭）

カトリック教会には、このように地域を単位とする組織のほか、修道会組織があります。

「父と、子と、聖霊」の三位一体の神を信じることを宣言し、洗礼によって教会に属することを選んだ信者は、それぞれの生き方を選ぶことができます。結婚生活、独身生活、修道生活と、各人が選ぶ生き方は異なりますが、それはそれぞれの道を歩むように呼びかける神に、その人なりにこたえることだ、と教会は考えています。

	1970	1985	1995	2000	2005	2008	2014	2018
司祭全体	419,728	403,480	404,750	405,178	406,411	409,166	414,313	414,969
修道士	79,408	65,208	59,515	55,057	54,708	54,641	55,314	52,625
修道女	1,004,304	917,432	837,961	801,185	760,529	739,068	705,529	659,445
カトリックの人口	6.53 億	8.52 億	9.89 億	10.45 億	11.15 億	11.66 億	12.29 億	12.99 億
世界人口の割合	18%	18%	17%	17%	17%	17%	17.72%	17.67%